

STR On-Demand

オンデマンドマイクロインカム 特定小電力トランシーバー

SRFD 10

取扱説明書

EN027U000

付属品

- カラーラベル (赤、青、黄、緑、シルバー、各1枚)
- 回転式クリップ (トランシーバーに取付済み) ○ 取扱説明書 ○ 保証書

正しくご使用いただくために

- 本機に接続するイヤブイスやマイクは、当社純正オプションを使用してください。当社純正以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。
- 当社純正以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます。
- 本機の動作温度範囲は-10℃～+50℃です。

防水性能について

本機は、オプションのイヤブイスやマイクをしっかりと接続した状態で、IEC国際規格 IP68 相当 (防塵性: IP6X^{*1}、防水性: IPX8^{*2}) の防塵、防水性能を有しています。なお、イヤブイスやマイク本体は防水ではありません。

※1: 粉塵の侵入から完全に保護されている事。
※2: 真水 / 静水に水深 1.5m の位置で 30 分間浸しても機器の動作に影響をおよぼさない事。

基本的な通話のしかた

● チャンネルをあわせる 2-in-1 コミュニケーション
本機は2つのチャンネル (A-ch と B-ch) を同時にモニターできます。A-ch と B-ch には別々のチャンネル番号を設定してください。グループ全員同じチャンネル番号に設定します。混信がある時は使われていないチャンネルに変更してください。

① A-ch を変える場合
[アクセス]キーと[▲]キーを同時に押す

② B-ch を変える場合
[アクセス]キーと[▼]キーを同時に押す

チャンネル番号が点滅している間に[▲]/[▼]キーを押してチャンネルをあわせる

● 話をする (送信する) ワンクリックハンズフリーオペレーション
通常は A-ch で送信しますが、A-ch が通話中の場合は自動で B-ch で送信します。受信する側は A-ch の通話を受信中でも、同時に B-ch の音声を聞くことができます。

① [アクセス]キーをワンクリックすると「ブツ」と音が鳴って送信します。

- キーを放しても、話をしている間は送信を継続します。
- 送信中は「ブツ…ブツ…」と音が鳴り、送信中であることがわかります。

② 話すのをやめると「ブツ」と音が鳴り自動で受信に戻ります。

③ 周りの音で話が終わっても自動で受信に戻らない場合は、再度 [アクセス] キーを押すと受信に戻ります。周りの音が大きい時は [アクセス] キーを押したまま話をして、[アクセス] キーを放して受信に戻ります。

● 話を聞く (受信する)
音量は [▲]/[▼] キーで調節します

▲ 上げる
▼ 下げる

各部の説明

12 現在のチャンネルを表示します
チャンネルを非表示にしている時は“-”が表示されます。チャンネルを表示する時は、セットモード **12** の設定を“ON”にしてください。

13 音量アップ中 **14** ホットライン通話中
15 音量ダウン中 **16** PA機能動作中
17 バッテリー残量警告 (すぐに充電してください)

バッテリー使用可能時間の目安

A-ch と B-ch 両方を使用する時	約 13 時間
A-ch、B-ch のどちらかを使用する時	約 18 時間

単信方式で、送信6秒：受信6秒：待ち受け48秒の繰り返しによる運用を想定

LED インジケータ

赤点灯：送信時
緑点灯：受信時 (送受信チャンネル設定が“At”の時)
送受信チャンネル設定が“At”以外の時

A-ch 受信時	緑点灯
B-ch 受信時	緑点滅
A-ch と B-ch 同時受信時	A-ch と B-ch の音量が同じ時 緑点滅 A-ch の音量を強調している時 緑点灯 B-ch の音量を強調している時 緑点滅

赤点滅：ホットライン通話中
オレンジ点滅：遠隔 PA 送信中

付属のカラーラベル (全5色) を貼ると、誰が使うトランシーバーなのかを識別できます。

CUE キーの操作

メンバーにアラームを鳴らして合図を送ります CUE機能
[CUE] キーを押してメンバーに合図を送ることができます。アラームの音量や種類は、裏面のセットモード **F8** **F9** で変更できます。

中継器の拡声器を使います 遠隔 PA機能 (あらかじめ設定が必要です)
[CUE] キーを押しながら話すと、PA機能がついている当社の中継器から音声を出力します。※セットモード **08** の設定を“on”にしてください。

特定のメンバーだけと通話ができます ホットライン機能 (あらかじめ設定が必要です)
[CUE] キーと [アクセス] キーを同時に押しながら話すと、特定のメンバーとだけ通話ができます。設定は以下の方法で行います。
[▲] と [▼] キーを同時に押しながら電源オン → [▲]/[▼] キーでセットモード **F6** を選んで [アクセス] キーを押す → [アクセス] キーを押して“1”か“2” (同じ番号を設定したメンバーだけで通話可能) または“AL” (1と2どちらのコードでも通話可能) を選ぶ → [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しして設定を終了

● オプションの専用充電器と専用アダプタで充電します

② AC 100V のコンセントに挿し込む

充電時間：約3時間
使用可能時間：約13時間

トランシーバーの背面側に▼マーク側にして挿し込みます

▼マーク クリップ

専用アダプタ (オプション)
① プラグを挿し込む

連結型充電器 (オプション)

赤色点灯：充電中
緑色点灯：充電完了
赤色点滅：充電エラー

● イヤブイス / タイピンマイクを接続する

オプションのイヤブイス/タイピンマイクを奥までしっかり差し込む

準備

● 電源を入れる

押し続けて電源をオンにします。もう一度押し続けると電源がオフになります。

● トランシーバーをクリップで装着する

襟元や胸ポケットなどに取り付けます。

※イヤブイスのコードを首の後ろ側にまわすとコードが邪魔になりません。

クリップは360度回転可能

通話中にこんなことが起きたら

● 話を止めても受信に戻らないとき
[アクセス] キーを押すと受信に戻ります。周りの音が大きいときは [アクセス] キーを押したまま話をして [アクセス] キーを放して受信に戻ります。

● 話が途中で受信に戻ってしまうとき
[▲][▼] を同時に押しながら電源を入れる → [▲]/[▼] キーでセットモード **04** を選ぶ → [アクセス] キーを押す → [アクセス] キーを押して“t3”を選ぶ → [アクセス] キーを長押し → [▲] キーでセットモード **05** を選ぶ → [アクセス] キーを押す → [アクセス] キーを押して“03”を選ぶ → [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しして設定終了。

● トランシーバーを操作したときのピープ音の音量を変えたい
[▲][▼] を同時に押しながら電源を入れる → [▲]/[▼] キーでセットモード **F7** を選ぶ → [アクセス] キーを押す → [アクセス] キーを押して音量“01～15”を選ぶ → [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しして設定終了。

● 相手の声が途中で途切れる、よく聞こえないとき
相手との距離が離れている場合や障害物などで電波が届かない事が考えられます。別売りの中継器を使用すると通話エリアが広がりクリアな通話を行えます。中継器に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 混信がおきる、雑音が出る
使われていない他のチャンネルに変更します。A-ch を変える時は [▲] と [アクセス] キーを同時に押してから、B-ch を変える時は [▼] と [アクセス] キーを同時に押してから [▲]/[▼] でチャンネルを変更します。

● 全ての SRFD 10 のチャンネルを一齐に変更する
混信などでチャンネルを変更するとき、1台ずつではなく複数台のチャンネルを一齐に変更できます。裏面の“複数台の SRFD 10 を一齐に同じチャンネルに変更する スマートクローン機能”を参照してください。

正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻します (オールリセット)
[▲][▼][CUE] の3つのキーを同時に押しながら電源を入れる → 画面に“F”が点滅 → [アクセス] キーを押す → 画面に“88”が表示された後自動で電源が切れて、オールリセットは終了です。

運用例

歯科・クリニック (2グループ同時モニター)

- グループ A とグループ B は、それぞれ別の業務を行っている
- グループ A はグループ B の音声、グループ B はグループ A の音声も聞こえるが通話はグループ内でおこなう

■ マネージャー

- マネージャーは AB 両グループに同時に指示を出せます
- マネージャーは片方のグループの通話音声を聞いている最中でも、もう片方のグループに連絡ができる

■ グループ A のスタッフ
■ グループ B のスタッフ

● 設定方法

1. [▲] と [▼] キーを同時に押しながら電源を入れる。
2. セットモード **F1** が表示 → [アクセス] キーを押す。
3. [アクセス] キーを押して以下のように設定する。

マネージャー	At を選ぶ
AB 両グループ	AL を選ぶ

4. [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しします。
5. グループ A は [CUE] と [▲] キーを同時に押し、送信チャンネルを A-ch に設定します。
6. グループ B は [CUE] と [▼] キーを同時に押し、送信チャンネルを B-ch に設定すると完了。

倉庫・配送所 (グループオペレーション)

- 全員が A-ch と B-ch の音声を同時に聞くことができる
- 片方のチャンネルが使用中でも、もう片方のチャンネルで連絡ができる

● 工場出荷時の設定ですので、そのままご使用になれます。他の設定にしてある場合は以下の方法で設定を戻してください。

1. [▲] と [▼] キーを同時に押しながら電源を入れる。
2. セットモード **F1** が表示 → [アクセス] キーを押す。
3. [アクセス] キーを押して以下のように設定する。

マネージャー	At または AL を選ぶ
グループ A	A を選ぶ
グループ B	B を選ぶ

4. [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しすると設定は完了。

ホテル・レストラン (2グループオペレーション)

- グループ A とグループ B は、それぞれ別の業務を行っており、グループ内の通話しか聞こえない
- マネージャーは、それぞれのグループに個別に指示を出す

■ マネージャー

- グループ A とグループ B 両方の音声が聞こえる
- グループ A とグループ B どちらにも連絡ができる

■ グループ A のスタッフ
グループ A だけで通話

■ グループ B のスタッフ
グループ B だけで通話

● 設定方法

1. [▲] と [▼] キーを同時に押しながら電源を入れる。
2. セットモード **F1** が表示 → [アクセス] キーを押す。
3. [アクセス] キーを押して以下のように設定する。

マネージャー	At または AL を選ぶ
グループ A	A を選ぶ
グループ B	B を選ぶ

4. [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しすると設定は完了。

